

世田がや 町総連だより

第 8 号

発行 世田谷区町会総連合会
 世田谷区若林4-31-9
 ポライト第2ビル2F
 発行人 会長 白石 博
 編集 情報誌編集委員会
 編集委員長 渡 辺 三 郎

白石 博 様

住みよい地域づくりのために、長年にわたり積極的にご尽力いただいていることに、厚く感謝を申し上げます。

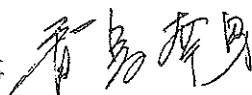
白石さんは、障害を持つ方々に太鼓の叩き方を指導されたり、地元の消防団によるポンプ操法の模範演技を子供もたちと一緒に行われるなど、福祉や防災の面で地域の先頭に立って実践指導に当たってこられたと伺っております。

住みよい地域づくりには、住民の皆さん一人ひとりのご協力が不可欠です。白石さんの日々のご尽力は、まさにご近所の皆さんの貴重な範となるものであり、深く敬意を表する次第です。

これからも、ご健康に留意され、潤いに満ちた「生活都市東京」の実現のためにお力添えくださいますよう、お願い申し上げます。

平成10年5月8日

東京都知事



知られざる町会長の苦勞

知事が手紙で顕彰

町会役員はあくまで民間人の奉仕的活動で、法制に護られたものではないことは皆様ご承知のとおりです。



都議会でも、このような立場の町会を何とか顕彰しようという機運がおこり、年に数名ずつ、知事が総連合会会長に表彰状を授与することになり、その第一回として当会の白石会長が上記のような表彰状をいただきましたのでご披露いたします。これは全町会長の代表としての榮譽と考えてよいことです。

なお、文中に「障害を持つ方々に太鼓の叩き方を指導された……」とありますが、地元の方々はすぐお分かりのように「障害を持つ方々の機能回復の一助として、太鼓を叩くための防音装置付きの場所を提供……」というのが実状であると会長から説明がありました。

杉並区町会連合会との懇談会

町総連では平成七年十二月江東区、平成八年十一月文京区と、現在の都政、区政の中で町会のあるべき姿を探るため、他区の町会連合会との懇談会を重ねてきたが、平成九年度は隣接の杉並区の見学と、その町会連合会との懇談会を企画した。

平成十年二月四日、世田谷区役所をバスで出発し、まず杉並区荻窪一丁目にある「杉並区立児童青少年センター」と、併設の「杉並区立男女平等推進センター」、「杉並区高齢者ゲートボール場」を視察した後、杉並区役所西棟第五、六会議室において両町会連合会の懇談会を開催した。

会議は世田谷区町会連合会安田副会長の司会により、世田谷区町会総連合会白石会長の挨拶にはじまり、杉並区町会連合会池戸会長の歓迎のご挨拶、つづいて来賓として出席された世田

谷区の大塚助役および杉並区の川島助役からご挨拶をいただいた。

つづいて司会進行を世田谷区町会総連合会渡辺副会長に交替し、予定に従い、次の四項目について懇談を実施した。

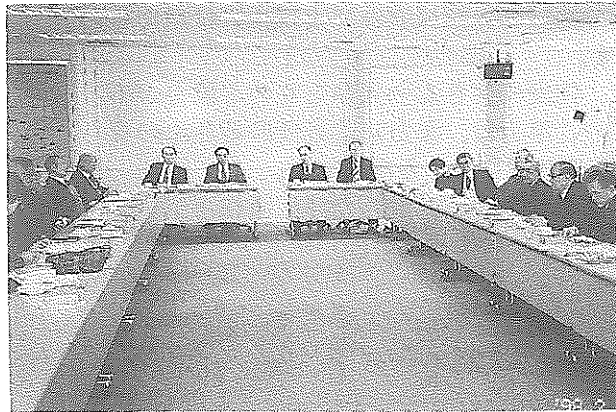
(防災)

杉一防災役員はほとんど町会役員が兼ねている。防災活動は町会が主体。学校防災連絡会には商店会、老人会、PTAなど各種団体が参加。

世一防災訓練に際し、小、中学生も動員したいが学校との調整に苦労する。

杉一学校を中心とする地域防災には住民側の主动性が必要ではないか。

司会一災害弱者を予め町会で調べているか。杉一消防署の依頼により実



懇談会の状況 (10.2.4) 杉並区役所にて

施したところもあるが、プライベートの問題で行わない町会もあった。強要しなければ協力してくれるのではないか。

司会一町会に属していない人に対してどうするか。

杉一役所の回覧は未加入者

にも届くようになっていく。

(リサイクル)

世一ペットボトルの分別はどうか。指定店に持参しているか。

杉一指定店が少ないので分別してゴミとして出している。

世一世田谷では、びんについてはストックヤードを持ち、区で回収している。

杉一助成金については、

- ① 区が業者委託し、業者に助成金を払う。
- ② 町会ごとにステーションを設置し、回収量に応じて支払う。

という二つの場合があるが、何もやらない町会もある。最近では自分の家の前をゴミの集積所にするのを嫌がる人が多い。

司会一新聞紙以外の折り込み広告や雑誌の回収を拒否する業者はないか。

杉一今のところ拒否ということはない。町会の女性会員が新聞とそれ以外の仕分けを行っている例もある。

(ゴミ対策)

世一アパートなどで分別しないで出したり、曜日にかまわず出す例が多く困っている。

杉一管理人に依頼するか、いないところは紙に書いて貼っている。

世一小さいマンションなどはゴミの集積所が少ない。管理条例を厳しくすべき

では。

杉一カラスの問題は？ 清掃事務所が不用になったゴルフ場のネットを貸してくれたことがある。

世一カラスネットを徹底して使用すると効果がある。

世田谷では区が支給してくれる。

(町会加入促進)

世一町会長がヒラを作って、熱心に勧誘に歩いている。

杉一加入率が低くて困っている。未加入者にも区の印刷物の配布依頼があるが、配りたがらない町会もある。

加入率が低い理由には「町会がなくてもいい」という考えがあるからではないか。これを解消するには警察、消防などにも協力して貰い、地域とのつながりをPRすべきではないか。これを行わなくては町会役員の補充もままならない。町会の意識向上が重要である。

以上のとおり予定時間一杯に熱心な討議が行われ、今後の協力を約して散会した。

世田谷地域

東親会の歩み

池尻東親会会長 齋藤 忠雄



プランターの並んだ町並み

昨年の町会で突然会長に
と推薦され、自信のないま
ま引き受けました。忙しく
過ぎてしまいました。振り
返って見てこの一年何をし
たのか反省しきり
です。

当町会は昭和二
十三年終戦直後に
照明会として発足
し、地域を貫く大
山街道を中心に防
犯灯を設置したの
が始まりで、其の
後東親会と名称が
変わり町会として
の活動が始まりま
した。

管理は大変な事でした。し
かし町会も担当の部を作り
組織化して来ました。
昭和三十九年オリンピック
開催に玉川通りが拡幅さ
れ、高層ビルも建ち商店街
も二分され、街の様子も変
わりました。この頃に廃品
回収(リサイクル)を始め、
現在もなお続けております。
平成七年に水と緑の課より
旧道を石南花街道にする
との通知があり、プランタ
ーに苗木を植え配布してもら
い、今年はいきれいに咲き今
が見頃です。



不慮の災害に備えて

稿
—— 関東大震災の記憶 ——
上馬西町会会長 下山 市郎

大正十二年九月一日、朝か
らキラキラするよすがな日ざし、
雲一つなく青い夏空だったと
思っています。その日は二学
期の始業式、私は八歳で駒小
の二年生でした。教室で友達
と夏休みの出来事や、二子玉
川に泳ぎに行った話しを子供
どうしで話したあと、先生のお
話しを聞いて学校を出ました。
家に帰って来て、「おひる
ご飯だよ」と母親に言われ、
私たち兄弟三人が四畳半の座
敷の真ん中においてあったお
膳のまわりに坐った時でした。
その時が午前11時58分でした。
何か、ずしんと腹の芯にひび
くような、下からつき上げる
ような地鳴りとともに、とに
かく物すごい上下動の地震の
一波が土地・家屋をふり回す
ように襲ったのです。上下動
のつづく、とにかくすごい地
震がおこりました。上下動に
ついて水平に前後左右にふ
り回す大地震が何分か続きま
した。子供たち三人は畳の上
に坐っているどころでなく、
お膳もヒックリ返って、地震
の終わるまでゴロゴロと、坐
ることも立つことも出来ない
何分間かでした。
私の家は古い分古いボロ家
で草葺屋根の家でした。隣近
所の建物の屋根からおちる瓦
とその瓦の割れる音と、壁土
のふり落とされる音と砂けむ
り、全部の建物がふり回され
てきしむ音などともに一時
真っ暗になったような家の中
でした。裏を流れていた品川
用水の川底が抜けたのか「水
が全部なくなつた」と、外の
方で誰かが大きな声でどなっ
ていました。
「火を消せ、火を消せ」と、
どなる声もきこえて来ました。
暫くして地震がおさまりま
したが、どうしたらいいのか
分かりませんでした。古いボ
ロ家の屋根裏から何十年分か
のすすやほこりや壁土や、棚
にのせてあったものも全部座
敷の中に散乱して、とにかく
どうにもならない状態でした。
私の家は小間物、化粧品など
を店で売っていましたので棚
から落ちたおしろいや、頭に
つけるつばき油など瓶の割れ
た化粧品の香りがプンプンし
ていました。父親と母親はそ
の割れたものなどを片付けて

これからの環境と 防災を考える

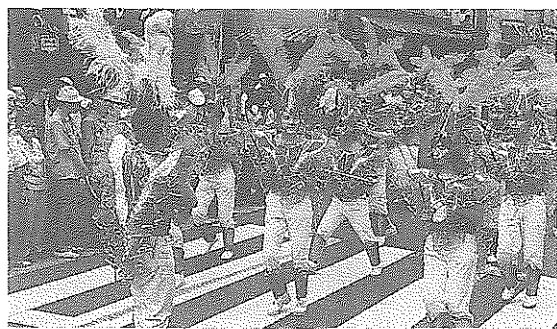
太子堂・三軒茶屋町会会長 程塚 豊

地域住民は、誰もが安心して住み続けることが出来る生活環境を願望しております。その実現のために諸先輩の指導と助言を賜り、また、町会員の信頼に応えるよう意欲的に取り組んでおりますが、難しい課題が山積しているのが現状です。

少子高齢社会をはじめとして、近年の天候不順、春夏秋冬の季節感を忘れさせる農作物の店頭出品、空気の汚れ、資源の浪費による枯渇、空気や水の汚れ、オゾン層の破壊等々、住民の生活環境は大きく変化すると同時に、地球の未来までが心配な状況です。

良い環境を守り創り出すためには、個人はもとより企業も含め、モラルの向上が何よりも大切です。車の排気ガスや産業廃棄物等で地球の自然も破壊され、人間生活に大なり小なり必ず

影響があります。企業利益の追求から環境保全対策へ方向転換を図るべきだと思います。また、我々消費者も「使い捨て」を開放して極力無駄を省き、ゴミの減量やリサイクル活動をより一層心がけていく必要があります。



ゴミ減量パレード

ある書物によれば、ドイツでは子供の頃から徹底した環境教育を実施している

ようです。例えば、入学前の「学用品の購入指導」では、ノート、スケッチブックは古紙100%、鉛筆は木肌のむき出しの物、クレヨンや絵の具は紙製の箱で色毎に買い足しができるもの、電動鉛筆削りはだめ等々、子供が学校へ持っていく学用品の条件が詳細に決められているそうです。自分達のために、また自然や生活環境のためにもゴミの減量や資源を大切に考えるのが国民全体に根付いています。

ぜひ見習うべきだと思います。

町会が生まれたのは昭和三十四年です。当時はゴミや放置自転車の環境問題はありませんでした。今では、安全、環境、緑化等々、町会員の福祉向上を目指した町会活動は非常に多くなっています。

放置自転車問題とゴミ出しマナーは、最大の課題として町会全体で取り組んでいます。放置自転車対策として太子堂連合町会とともに、ここ数年毎月早朝から街頭クリーンキャンペーンを実施しております。また、

いたようでした。私たち子供三人ははだしてフラフラしながら外に出てみると、きれいに晴れわたっていた青空が、もうもうと立ち上がるほこりで目もあけられないくらいでした。ほこりを通して見上げる空に真赤な太陽がキラキラと異様に見えたことも忘れません。

その頃上馬の、現在の西町あたりに何ヶ所か竹山がありました。いま東京トヨペットになっているあの所が全部竹山だったので、近所の人達が思い思いの所にごさを敷いて避難をしていました。つづいて余震があるということ夕方頃には、平常人などいない竹山がにぎやかになるくらいでした。

何となくおちついてきて子供たちも竹山の中で遊ぶことが出来るようになってきました。

何人も友達が竹山にあつまりました。地震が落ち着いてから二時間か三時間くらいたった頃、表の大山街道を渋谷の方から大きな風呂敷包を背負って両手にお勝手道具をさげた人達が二子玉川の方にどんどん歩いて行きました。歩いて行くなかに小さい子供の手を引く女の人もいたし、杖をついた年寄りの方も大ぜいいて、その中にはもう疲れて早くは歩けない人もいました。

竹山に入って来て少し休ませて下さいと言う人や、梅干しを一つ頂きたいと言うお婆あさんもいました。おなかのすいた人もいて大きなおにぎりを上馬の人達が渡してしました。「下町はもう火の海で、ところによっては焼け死んだ人も大ぜいいるだろう」と話す人もいて、大人どうしの話しをきいた子供たちの胸がどきどきしたものです。

立ちこめていた砂ほこりがだんだんおちついてきて、青い大空に真っ白い入道雲が目に入るよう午後になってきました。でも時間がすぎて夕方ちかくなると西北の方角をのぞいて、下町の方の空は真っ黒い煙がもくもくとのぼりはじめました。大人の人達がその黒い煙を見ながら、さつき通って行った人が言ったとおり下町は大火事になってしまったのだ、と心配そうに話しをしていました。さらに時間がたつと横浜の方角の空も東京の下町の空も真っ赤に燃え上がり、その後何日も何日も燃えつづいた大火災でした。

地震のあと必ず発生する二次災害を思うと、実際にそのようになった時どこまで火災の発生の防止が出来るか、誠に難しい問題です。とにかく、身の回りの火を消す初期消火を常に心がけなくてはならないとつくづく思う次第です。

行政により駐輪場やレンタリースイクルポートも設置されました。しかし、目に見える効果はありません。むしろ最近では生活道路にまで放置される傾向があり、新たな対策が必要です。自転車利用者のモラルに訴えていく以外、解決は難しいかも知れません。

ゴミ出しも当町会は商店街や集合住宅が多いせいか、違反者が多く見られます。そのためカラスや猫による中味の散乱がひどく、清掃する方の身になってきた。これらも結局はモラルの問題だと思えます。

災害に強い街づくりを指して、防災活動にも力を入れております。阪神大震災を教訓に、消防署の指導で初期消火、三角布の使用、煙中避難、炊き出し等々の訓練を実施しています。

さらに一時集合所から広域避難場所までの避難誘導訓練も行っています。しかし、「言うは易く、行うは難し」といわれるように地形・道路その他の条件により、避難路が障害物で遮断された

り、避難場所は人々で溢れ、老人子供が動けなくなり、かえって悪い環境になってしまふことも考えられます。私は「自分の命は自分で守る。」「自分も助かり、人も助ける。」「いざという時に慌てず落ち着く訓練が最も大切だと思います。」

昔を偲ぶ我が町、桜木の里

桜町会会長 鈴木常雄

もと世田谷区町総連副会長山口長五郎氏のあと町会長を仰せつかり六年目、多様化された社会情勢に、行政当局からの依頼の諸行事に対応することの重責を感じている毎日です。

昔、桜木と呼ばれたこの地も、住居表示変更の施行により桜の一字になって三十二年、商店の数少ない静かな街といえましょう。町内の中や東側には延命山勝光院があります。朝夕聞こえる鐘の音は人々の心を和ませ、正に昔を偲ぶ桜木の

も大切だと思います。当町会は、区内でも有数な商店街で買い物客、通勤・通学者等、人々の往来が非常に多い所です。どうか町総連の皆様、より良きアドバイスがありましたらお願い致します。



会員親睦バスハイク

このような時、住民のビツクリするような流言飛語がどこからか町に流れて、関東大震災の時も思いがけないそのことで大ぜいの外国の人が犠牲になりました。そのようなことにつきましても注意しなくてはならないとつくづく思いました。

関東大震災の時の被害についていつか配布された資料によりますと、死者一四万二〇〇〇人、重軽傷者三四万五〇〇〇人、家屋の焼失・倒壊七十万棟となっていました。あの時から七十五年目を迎え、移り変わった今の町のことを思うとき、もしあのような大地震になった時その対応がどこまでできるだろうか。

近くの小学校に行っている子供たちが、違法駐車している自動車から何かの原因で出火でもしていたら、せまい道路を無事通り抜けて自宅に元気で帰ってくる事が出来るだろうか。バスや電車に乗り継いで遠くの学校に通う中・高校の生徒のことなど思うと、どのような方法で連絡をとったらいいか考えきれないことばかりです。

近隣に出来るアパートにしても、二十部屋も三十部屋もありながら、どの部屋もどの部屋も鍵はかりつ放しである。連絡するいい方法を考えなくてはならないだろう。い

つも自動車が渋滞している高速三号線が無事で使用出来るだろうか。国道二四六にしても環状七号線にしても溢れるように通って行く自動車のことなどを思うと、もう地元の町会の私どもの出来る問題ではないと思うものです。

いつ起きるか分からない大地震に備えて実施する防災訓練のことを思い出し、もしあのような大地震が発生したら被害を最小限にいとめる努力をしなくてはならないといつも思っています。

私はあのような大地震が二度と起こらないようにといつも思っています。もし関東大震災のような大地震が起きたとき地元町会の私たちが先ず頼りにするのが区役所の出張所の方々ではないでしょうか。消防署の方々、警察署の方々の指示に従って対処しなくてはならないと思います。職員の方にしても、私たちにしても、先ず家族がどうしているか、そのようなことを思いながら平素実施する防災訓練がどこまで役に立っていることが出来るだろうか。

「経験が自信につながる防災訓練」、この経験がどのようにに生かされるか色々問題はあると思いますが、初期消火が大災害を未然に防止することを思い努力しなくてはならないと思っております。

里と言った風情を醸し出し
ております。

それに私達町会には町会
事務所があり、諸先輩が残
された遺産に感謝しており
ます。舞台付き二十八帖の
畳部屋があり、会議はもと
より会員の皆様や一般の
方々にも利用されており
ます。

また、隣り合わせで都立
母子保健院があります。防
災訓練等にも参加して、災
害時に備え連絡を密にして
いる心強い病院であります。

それに町内には駐在所も
あります。その名も桜木駐
在所といって戦前から所在
しており、町の歴史を物
語っております。現在は木
村さんが駐在しております
して、この地の治安に務め
て頂いており、犯罪も殆ど
無しの状況です。なお、ふ
れあい協議会があり、十名
の構成で防犯座談会や児童
の学校通学路に立って、登
下校の安全に協力しており
ます。

町内の最北端に烏山川緑
道公園があります。七〇〇
米の区間の清掃は、二十五

名の編成で毎月一回担当し、
緑の多い公園道として道ゆ
く人々に親しまれており
ます。

年に一度の町会員親睦日
帰りバスハイクがあります。
普段顔見知りでない人もこ
の旅行によってお互いの融
和が生まれ、コミュニケーション
に欠かせない行事の
一つです。

さて、これから私達に課

21世紀の 魅力ある街をめざして

経堂二丁目町会会長 石綿 英一

私たちの町会是小田急線
経堂駅の南側の区域で宮坂
一・二丁目と隣接し、小田
急線と烏山川緑道を町会の
境としています。経堂の地
名の由来について一つの説
をご紹介します。

江戸時代の前期、このあ
たりに中国から帰化した漢
方医が住んでおり、名を松
原土佐守弥右衛門といいま

せられた防災に強いまちづ
くりを目指す上で、会員の
親睦と団結向上に努力する
ことが唯一の条件です。し
かし、高齢化が進むにつれ
人材不足に苦慮しているの
が実情ではないでしょうか。
それを乗り越えて上町地区
連合町会の住みよいまちづ
くりで微力を尽くしたいと
思いますので、よろしくお
願い申し上げます。

幕府の医師となりこ
の地に書庫を持ち、数多く
の医書を収蔵していました。
土地の人々は彼の医書を經
本と思い、そのため彼の屋
敷を「経堂」と呼んでいた
といい、そこからこの地に
経堂という名がついたとい
われています。

さて、今の私たちは町会
各種行事の他に、経堂出張

所地区身近なまちづくり推
進協議会のもとに、①放置
自転車対策 ②ゴミ問題 ③
街の美化 三つのクリーン
作戦活動があります。

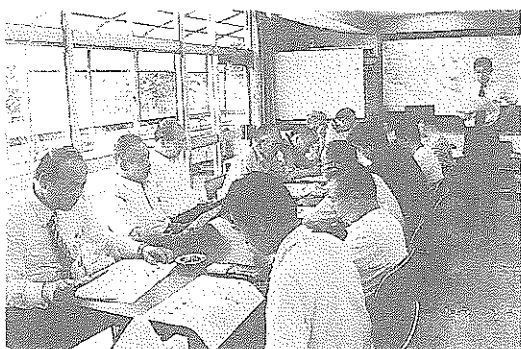
毎年春・秋に実施される
全国交通安全運動には経堂
大橋際にテントを設営し、
交通事故のないまちにと活
動を続けております。

特にこの町会では小田急
線の高架化に伴う経堂駅周
辺の街づくりにも「経堂駅
周辺街づくり協議会」とし
て私たちの地域発展のため、
一生懸命取り組んでおり
ます。

経堂駅周辺街づくり協議
会とは、小田急線の連続立

体交差事業及び複々線化事
業が高架方式で計画され、
これを基本に、区より経堂
駅周辺整備構想(案)が提
示されたので、それに対し
私たちの町会、宮坂一・二
丁目町会、宮坂二丁目町会、
経堂北町会、赤堤一丁目町
会等の経堂駅周辺の関係住
民有志の皆さん方により、
地元住民の意見が十分に反
映できるよう「街づくり」
条例に基づいて組織された
会の事です。

会は「安全で住み良い文
化的、且つ活気ある街」を
目指して、①駅前広場整備
②駅舎デザイン ③高架下
の利用 ④駅周辺の骨格道



街づくり協議会の会場風景

路整備 ⑤小田急跡地利用等について会合を重ね協議を進めています。

平成十年四月十五日付「せたがや」に小田急線六駅の駅舎外観デザインが公表されました。ご覧になつた方もいると思いますが、

経堂駅に関しては、街づくり協議会の要望が十分反映されていたと思われま

す。今後、街づくり協議会は、駅前広場部会と高架下利用

青少年を育む環境を町に取り戻そう

下馬一丁目町会会長 保高彦二

情報化の進展とともに青少年を取り巻く環境が大きく変わり、これに伴って青少年の生活、行動も複雑、多様化しているのが近年の社会情勢ですが、中でも日常私たちが身近に不快感を覚えるのは、なんともいわずら書きや、塀などにいた

部会を軸として、地元住民、皆様のご意見を取り入れ、経堂駅周辺が二十一世紀にふさわしい街として発展するよう努力して行く所存であります。

世田谷総合支所幹部職員を交え『落書きや不法看板のない美しいまちづくり』をテーマに打合せ会を開催した結果、区・警察・住民の三者一体の協力体制を確立し、『落書き修復活動』を開始しました。活動内容については新聞、テレビで報じられたので、ご存じの方も多

く多いと思います。これまでに至った町会・自治会連合会の足跡といえば、下馬出張所を中心として、落書き箇所の実態調査からはじめ、関係機関と綿密な打ち合わせを行い、一方、各種会議の席上で町会連合会の活動内容をPRするなどの方法で、現在までの実績を上げて、町の環境美化、景観の保全に寄与してきたつもりです。しかし修復活動の当初は、素人の悲しさ、色の調合方法、塗り方、資材の取り扱い方から保管法まで専門業者から指導を受けなければなりません

資材一切は区から提供を受け、作業終了箇所には地権者の了解を得て『落書き防止ポスター』を張り出し、落書きが犯罪であることを知らしめました。また好ましくないポスター、不法立看板については、関係機関立ち会いの下に一斉撤去を行ったが、残念なことに幾日も経たない間に元の状態に戻り、撤去が頻繁に行われなければ、その効果を期待できないことがはつきりしました。幸いにして本年四月一日よりスタートした『世田谷区ポイ捨て防止等に関する条例』のなかに、不法看板や落書きの項目が盛り込まれたことは、今までの活動が評価されたよう



落書き修復中の状況



落書き防止ポスター

ところで各地域それぞれの場所で、立て看板、ポスター撤去の度に警察官の派遣を要請することは実情にそぐわないので、現在は各町会独自の判断で、法的には未解決の点もあるやもしれぬ不安を抱えたまま、防犯腕章を着けて随時実施しています。幸いにトラブルも発生していないようですが、明確な指針を徹底して欲しいと思います。

終わりに、落書き、立て看板、ポスターの撤去は根気比べの事業ですが、いつかは我々の地道な努力によって、根絶やしにしようという覚悟です。関係各

位の変わらぬご協力をお願い
いたします。

編集者註

立て看板、ポスター撤去
に際し警察官の立ち会いを

要すると指導しているところ
はほとんどないと思われ
ますが、撤去後、何日か保
管するなどトラブル防止に
は、各自十分注意する必要
があります。

業者側も自ら『ステ看板』
と称しているくらいです
から、まず問題になること
はないでしょう。
また『売り上げ倍増、ス
テ看板、一〇〇〇枚より受

注』といった看板を試験的
にバラバラに掲示するので、
見つけ次第撤去するよう
しないと、その通りは、看
板掲示に適していると思わ
れるようです。

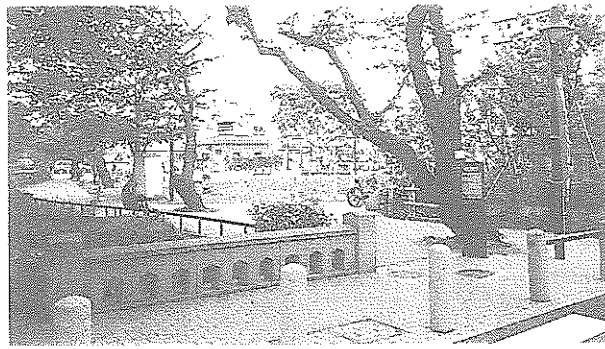
北沢地域

代沢せせらぎ公園

下代田西町会会長 青木 弘

私共の町内に北沢川緑道
があり、八年度に北沢川緑
道を育てる会が発足し、せ
せらぎと公園作成のプラン
で何回も会合が開かれ、地
域の皆さんの意見・要望も
取り入れて、第一、第二期
の工事が淡島通りの下代田
橋より一本橋と進められま
した。

レが出来上がり、去る九年
三月二十日せせらぎの通水
式と開園式が地域有志の実
行委員(実行委員長は元区
議会議員広島文武さん)の
方々の案により行われまし
た。新しい公園の名称は公
募されて、当町会副会長平
野ミチさんの「代沢せせら
ぎ公園」が多数応募の中か
ら選ばれ名付け親になりま
した。翌平成十年三月二十
二日に実行委員会により



代沢せせらぎ公園

「代沢せせらぎ公園まつ
り」が行われ、数々の催し
が開かれました。
▼手づくり郷土賞プレート
の除幕式が子供たちの手
で行われました。(これは建
設大臣亀井静香氏の書で
関東建設弘済会より九年七

月に寄贈された)

▼記念植樹

▼浄化施設の見学

▼公園内の花植え(植えた
子供さんの名札付)

▼みんなで遊ぼうコーナ
ー

▼模擬店 焼そば、おし
るこ、ポップコーン、クレ
ー

プ等近隣町会有志の皆さん
の協力で安く提供され、子
供さんを初め大人の皆さん
も楽しく過ごされて盛会
うちに終了しました。

公園を楽しく利用出来る
ように北沢川せせらぎクラ
ブ代表土屋周三さんの仲間
の皆さんで、せせらぎの清
掃、草花の手入れが常時な
されており、地域の皆さん
も毎月清掃、除草をしてお
ります。

町会に九年五月に結成さ
れた防災区民消防隊は柳下

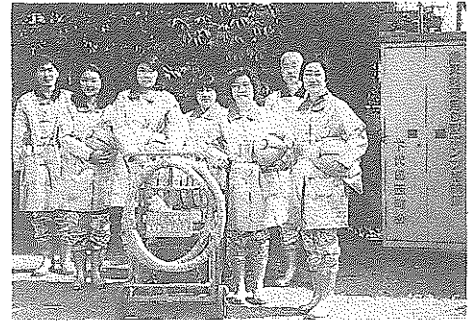
町会長交替のお知らせ ①

町会・自治会名	新会長	旧会長
代田自治会	清水宗一	遠藤孝夫
代沢2丁目北町会	小坂恵一	鈴木郁之助

北沢地域
町会連合会

町会・自治会名	新会長	旧会長
太子堂4丁目西山町会	町田朝子	宇田川義信
世田谷上町町会	—	内藤義雄
野沢1丁目明朗会	鈴木友市	今井正之助

世田谷地域
町会連合会



防災区民消防隊

地域防災部長のもと、小川隊長以下七名(内女性六名)で、せせらぎの水を利用して毎月第四水曜日にD型可搬式ポンプの操作・放水訓練に励んで火災に備えております。

みんなの広場です。楽しく利用し、遊べるような公園に地域の皆さんと共に努力したいと思えます。

我が町ふるさと「北沢」

東北沢自治会会長 三室 喜久

はからずも東北沢自治会会長の大役をお受けしてから、ちょうど丸一年になりました。

最初は自治会のこととは皆分かってはいるつもりでしたが、やってみると未経験の事柄が意外に多く、三人の副会長さんになんとか助けられまして、おかげさまでどうにか今日まで面目を保って参りました。まず、我が町東北沢自治

会の今年度事業活動計画を紹介させていただきます。

一番目は婦人消防隊です。女性副会長さんお二人を先頭に十数名で組織され、皆さんそれぞれが役割分担に従って元気はつらつ、張り切って訓練に励み、いざという時のために備えております。

また、長い歴史と伝統を誇る東北沢陸会は北沢八幡宮祭礼を盛り上げるために



町内の清掃に活躍する会員

大活躍です。この秋の二日間には老いも若きも、そして子供達も、町内全地域をお祭りでも盛り上げようと一生懸命です。この日は神輿や山車を引き出し、お弁当やお菓子をいただき、お祭り気分を心ゆくまで楽しめます。

祭礼だけではありません。例えば春と秋のハイキング、家庭料理や正月料理が勉強できる料理教室をはじめ、北沢公園での模擬店バザー参加、ラジオ体操、北沢ミニ文化祭への作品出展など、楽しい催しが沢山あります。

そのほかにも町内や公園の清掃、地区防災訓練、地区内の防火防犯のための歳末警戒、高齢者食事会、地区青少年対策の行事参加なども予定されており、少しでも地域の皆さんのお役に立てばと考えております。

さらに、東北沢自治会も常盤会も、地域振興のため出来る限り応援させていただきます、なごやかなコミュニティ

ニケーションに努め、日頃の疎遠を解消し、暖かい心のふれ合いが生まれますよう努力したいと思えます。昔の隣り組ではないですが、災害時にはお互いが声をかけ合い、仲良く助け合って、より良い地域社会をつくらせて行きたいものです。

最後に、十二月の歳末警戒の時には東北沢陸会と常盤会が自発的に参加され、ご協力下さり深く感謝申し上げます。

自分達の町は自分達で守り、世田谷区北沢が「我がふる里」であると胸を張って誇れるような町づくりを目指して、これからも自治会発展のために頑張ります。

松原三・四丁目 自治会について

松原三・四丁目町会会長 奥戸 鉄男

松原三・四丁目には、北は位置している。

甲州街道、南は京王線・東急世田谷線の下高井戸駅より松原駅までの線路東側に

帯を含め会員数は一七〇〇に近く、一昨年名簿作成で

加入を促進したため、賃貸住宅関係を除けば殆ど一〇〇%の自治会加入を果たしている。

学の徒歩通学圏内にあり、木賃アパート等の小規模のものも多く、単身世帯と短期居住となりがちで、地域への愛着心は薄く、ゴミ放置、自転車放置等の問題解決の阻害要因となっている。



下高井戸駅前におけるクリーンキャンペーン

戦前より静かな住宅地で、古くからの居住者も多くを占めていたが、現在は高齢化も進み、また近年住宅地域内にも賃貸を含むオートロック型式の低層マンションも建てられるに至り、マンション世帯数も増加し、建物の構造、強度、居住年数、高齢者の少ない事等条件の相違によって、年毎に役員が変わる管理組合という特質を持ち、何かと自治会との関係もつすがちであり、防災訓練等参加度は低く、

商店街は下高井戸商店街振興組合として結成され、駅近辺より日本大学までを占めているが、京王線により下高井戸駅を境に松沢出張所管内の赤堤に分断されている。

当地は日本大学、明治大

対策に苦慮している。

御多分にもれず行政の下働きの他、回覧、交通安全運動、歳末警戒、町の美化清掃、リサイクル、盆おどり、ラジオ体操会、祭礼、小学生入学祝、七五歳以上の方への敬老金贈呈、その他各種行事、会議、催し物への参加も役員の出席で成り立ち、どこでも顔馴染みの高齢者の顔が多く員数合わせの感がみられる。何とか住民参加の方法がとれないものかと考える。

新役員の加入対策についても一定地域内より推薦と規定を設けているが空文化して中々困難で、平均年齢の高齢化が進むにつれ、補充が一課題である。

地縁者が役員になる事は色々メリットもあり、方法として考えられるが、各種会合への出席は悪く、年一、二回顔を出す程度の不在役員を増員することになりかねず、何かよい対策はないか頭痛のものであり、よい智慧があればお借りしたいと思えます。

—地域の支え合い活動団体—

「安心ネットワーク」の設立

経堂赤堤通り団地

自治会会長 **赤羽 親**

当団地は、現在六五歳以上の高齢者は一五〇名おられ、総人口の二〇%を占めており、高齢化が一段と進んでおります。

世田谷区では、高齢者率一四・三%「七人に一人が高齢者」といわれておりますので、この二〇%は「五人に一人が高齢者」ということで、いかに高い高齢者率である

かご理解いただけると存じます。お子さんは独立して転出されて老夫婦のみの世帯も多い中であっ

て、高齢者の方で「ひとり暮らし」の方は三〇世帯ございます。昨年六月に開催しました会合でひとり暮らしの高齢者が困った時に、行政の手が届くまでの間、同じ団地の居住者が買い物や家事に手を貸していくシステムとして「安心ネットワーク」の設立の趣旨を発表して多くの方から賛同を



桜の下で「ふれあいいいきサロン」

得ました。

ひとり暮らしの方が風邪をひいて起きられない時や、転倒して骨折などで動けない時に、買い物のお手伝いをしたり、食事の準備をしてあげたり、更に掃除・洗濯までも遠くの親戚になりかわって、近くの他人が支援してあげられれば、日々を安心して暮らしていただけではないだろうかとかも考えました。病気の状態によつては急速に回復されるかも知れません。入院とか家族や親戚の方の介護を受

けることになったり、世田谷区の介護サービスを受けることになるかも知れませんが、それまでの短期間の「狭間をカバー」していくための「安心ネットワーク」を設立したいと考えた次第です。

「地域の支え合い活動補助事業者」に指定され、地域の支え合い活動団体として世田谷区からの助成金を含め、ご支援とご協力をいただくことになりました。

「安心ネットワークニュース」を毎月一日に発行するほか、「健康教室」を毎月第二木曜日に開催しております。また、毎週第四土曜日には「ふれあいきいきサロン」を開催して「ねたきりゼロ」をめざしてゲーム、合唱、おしゃべり、体操と楽しいひととき

を過ごしております。老夫婦の一人が不幸にしてお亡くなりになれば「ひとり暮らし」になります。今後は支援希望のひとり暮らしの方はますます増加していくでしょう。一方もつと若い人達からの家事支援協力者を求めていかなければならないと思います。今後、高齢化がますます進む中で地域の人々が支え合うことがどうしても必要になってくると思います。私たちが住む団地も「個人の尊重」とか「プライバシー

玉川地域

災害時に備えて

奥沢交和会

高齢者対策部長

折居 俊武

奥沢交和会は奥沢一〜三丁目地域の五〇〇〇の世帯におよぶ大町会です。その

中に七五歳以上の高齢者が約一〇〇〇人おります。この方々の中には当然ひとり

暮らし、高齢者のみ世帯も多く含まれております。そこで交和会では阪神大震災を教訓としながら、災害時に地域の中で、高齢者をはじめ隣近所で助け合っていることを目的として、平成八年に「高齢者対策部」を新設いたしました。

部会のメンバーである民生委員を中心に、月一回のペースで打ち合わせ会を持ちながら、区が推進している「地域の支え合い活動」

の趣旨を踏まえ、先ず支え合い活動の登録希望者（一五二名）を把握し、協力員（一四三名）が応募してくれました。また、イベントとしては、例年交和会からの慶祝品をそれぞれ届けていたものを、平成九年九月の敬老の日には交和会会館で配布することとし、日頃あまり外出しないお年よりも含めて二〇九人の方々に集まっていた

また、平成十年三月には同じく交和会会館で「お茶にしませんか」と銘打って交流会を主催し、保健婦さんの「寝たきりにならないため」のお話や、折り紙教室、輪投げ大会などで盛り上がりました。

この間、防災マップを作成し、支え合い活動登録者と協力員を地図に落とし込む作業や高齢者アンケートを実施し、五〇五名の対象のうち三〇九名の方から回



交和会館における高齢者交流会

答を得て、おとしよりの現在の境遇や交和会に望むこと、ご意見などを集約しております。
このほかにも、区をはじめ警察署、消防署など公共機関の協力を得て、奥沢中学校を会場として、泊まり込みの避難訓練所体験訓練を実施し、地域の融合と災害時の初期動作、連携の大切さ等を学んだことは大きな収穫でした。

日赤奉仕団の活動について

玉川田園調布会副会長 脇田 登志子

町会の幹部となると、町会本来の仕事のほかに、日本赤十字社、社会福祉協議会、防犯協会、防火協会等々、数多くの役が回ってきます。今回は赤十字の分団長にその活動を紹介して頂きました。

日本赤十字九品仏出張所分団が結成されてから、もうすぐ四十年になります。

分団の奉仕活動の主なもの、献血・社資募集・救急法や家庭看護法などの講習会・地域防災訓練への参加・馬事公苑での「区民まつり」や各種行事への参加・日赤本社での裁縫奉仕・施設見学を兼ねての分団員懇親バス旅行などがあります。

これらの分団活動の中で、献血の日には、広報車に乗って近隣への宣伝と、道行く人々への呼び込みや、受け付けなどのお手伝いをいたします。地域的に住宅

地のため、なかなか採血を

申し出られる一般の方が少なく、せっかく献血したいと思ってきました。でも、薬を飲んでいたり、意外に多く、血圧の関係などで駄目になることもあります。

一日に一か所で百名くらいの採血が目標とされていますが、それを達成するのはとても難しいのが現状です。

裁縫奉仕は港区にある日赤の本社で、乳児院や恵まれない子どもたちへのパジャマや肌着などを作り出します。昔、手作りをしながら子育てをしたころを思い出してミシンを踏み、小さな



新旧分団長、副分団長の歓送迎会 (10.2.26)

衣服を縫い上げるのは奉仕団の仕事の中でも楽しい活動の一つです。

日赤本社事業の中には、青少年赤十字奉仕団員の育成があります。子どもたちに奉仕活動の大切さを教えることの重要さを知りながらも、学校・親ともに積極的になれないのが現実と思えますが、子どもの「心の育成」のためにも是非推進していきたい事業だと

常々思っております。

今年度より、長年にわたり九品仏分団を育ててくださったいました前任者の後をお引受けして分団長に就任いたしました。未熟な私にとりましては、分団員の皆様のご協力を何よりの力とし、ご高齢の団員の方々からは長い経験から

生まれた知恵を出して頂き、仕事や子育てに忙しい若い方々にも参加していただけたような地域活動をしていきたいと思っております。

最後になりましたが、分団の事務局である出張所の所長さんをはじめ、担当の職員の方々がいつも細やかな心遣いをしてくださり、活動を続けていくうえで大変心強く、いつも感謝いたしております。

我が町について

等々力和敬会会長 菅田 権造

我が町等々力和敬会は、

約四、〇〇〇世帯を擁して、東西に延び、東から目黒通りを越えて西へと往来するやや細長い地形となっており、通知連絡の便宜上、東部と西部に分けています。

今も土着の人々は、山谷とか宿、上原という町の呼びかたで、日常の集まりの会話をしつゝあたりまゝに使い分けています。

旧家の風貌と近代風の家々が、樹木、野菜、ぶどう畑等とほどよく調和され息づいています。町の一部に位置している谷沢川に沿った等々力溪谷の自然な清流の恵みと、緑の環境が惜しみなく提供され、多摩川へと注がれる景観は人々の心を癒す場となっております。等々力不動尊境内で行われている「ほたるまつり」は、等々力に止まらず他の地区にも広く風物詩と

して知られております。

旧来から伝わる氏神玉川神社の祭礼の賑いや、隣接する満願寺から聞こえる朝夕の鐘の音も、世の中の移り変わりの激しい時代に拘らず幸いにして、この町にふさわしい名残りが保たれているところでは、

また、児童、敬老、一般住民を対象として計画され、近代設備をもった地区会館も近く完成される予定です。

子どもも安心して自由に遊べるし、お年寄りの方々も長寿の潤いのある実感を味わうこともでき、一般の利用も可能な会館の完成は、地元町会としてありがたいことと喜んでおります。出張所とともに取り組んでおりますまちづくり推進協議会も、美化、安全、緑化、健康、それぞれの部会が地域住民と一体となって、

まちの環境保全に努め、リサイクル活動では都、区、清掃施設の見学や研修会等にも参加し理解を深め、普及活動を行っております。

このような素晴らしい町に、いざという災害が発生したときの想定と災害対策に關しては、普段からいろいろな行事の中で連帯の意識を啓発し、そのことを原点として和敬会の結束をさらに固めて行く方針です。

本年も防災活動の一環として防火、防災、防犯を一体として合同の組織をもって事にあたり、所轄関係機関の指導のもとに実動訓練、研修会等にも積極的に参加し、救命技能認定取得受講を一層活発に推進することにしております。

「自分達の町は、自分達で守る」を合言葉として結びと致します。

町会長就任にあたり

上野毛町会会長 片瀬 松夫

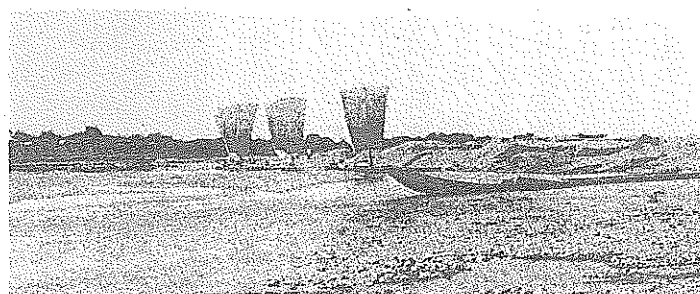
昭和26年12月用賀で生まれ、育ち、昭和45年より上野毛でお世話になっております。上野毛という土地が、歴史などほとんど分かっていない、そんな私が、今年度より町会長として町会員の皆様に改めてお世話になります。

上野毛と言う地名の由来は定かではありませんが、一説では「ノツケ」という

アイヌ語からきているというところで、四百年程前の資料に載っている三名の大地主だった時代から先祖代々、質素儉約をもって土地を守り、発展させてきた等々、多くのことを知ることにより、上野毛の歴史を大切に町会運営をしていきたいと思っております。

現在に置き換えれば、質素儉約は、問題になってい

るリサイクル、省エネではないかと思えます。又、この地を先祖代々守り発展させてこられた年長者の方々に対し、敬老の精神を持って大切にしていきたいと思



往時の多摩川(上野毛付近)

上野毛町会も、皆さんの町会、自治会同様、会員はもとより特別会員の皆様方はじめ多くの方々のご協力を戴き、災害対策(防火、防災訓練等)、青少年対策(子供祭、マラソン大会、

ドッジボール大会等)、美化運動、敬老会などを実施し、明るい住みよい町づくりに日夜努力しております。また、前記の町会活動の中には、上野毛出張所管内四町会(野毛、中町、中町四・五丁目、上野毛)が一つに

まとまって行っている行事が多数あります。引き続き地元の方々、新しくこの上野毛にいられた方々が融和のとれた町になりますよう微力ながら町会運営に取り組んでいきたいと思っております。

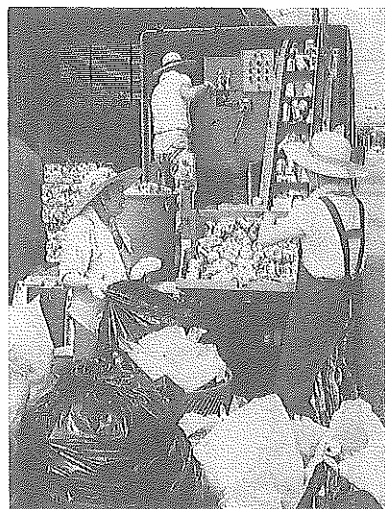
人が支え、

みどり豊かな環境を生かすまち

上用賀町会副会長 柳田 文雄

世田谷区の全地図を見開けばほぼ真ん中に位置し、東は馬事公苑、西は砧公園と、緑濃い自然環境豊かな地形を擁し、東西南北基盤

の目のように整理された、区内でも理想的な住宅地が上用賀です。同町内居住者の約半数二、四〇〇の世帯加入者の豊かな暮らしと、



アルミ缶回収作業

安全なまちづくりを願って会員有志が自発的なボランティア活動で町会活動を支えています。町会の動

きともなれば、どの町会も殆ど変わらぬ防災、防火、防犯、保健福祉、青少年、リサイクル、文化等々、多面的な行事に集約されると思われます。そこで特徴的な事例について二つほど紹介しておきたいと思えます。

その一は文字通り、そこに人が住み人が支え合う活動です。高齢者の寝たきりゼロや障害を持つ人々への優しい思いやりの心で、町内外から集められたアルミ缶回収資金で、車イスを同町に八台、地域内施設の上用賀デイホームに二台寄付しています。

当初はごく一部の熱心な人々のみの活動でありましたが、月日が経つにつれ、この仕事の実績と私心を離れて働くボランティア活動の姿が認められ、今では多くの協力者を得て区内でも有数の実績を示しています。車イスは六ヶ所の正副会長宅に保管し、町内回覧や専用掲示板で「歩行にご不自由な方や一時的に利用したい方はどうぞ」と呼びか

けています。「お陰さまで今迄は家の中だけでしたが、家族に助けられ車イスで出かけ、変わり行くまちの様子が本当によく判ります。ありがとうございます」と、高齢者からのお礼のこたばをいただき、町会存在の有難さを分かって頂いたようです。

その二、町内の子ども達に夏休みの楽しみを増やす盆踊りと映画会です。

「この地域に盆踊りがないのがさみしい」との声に押され、お父さん、お母さん達有志が発奮し、上用賀小学校卒業生を中心に平成四年「やぐら会」が発足しました。「上用賀納涼盆踊りまつり」と名乗って第一回が上用賀小学校校庭にて行われ、延べ三千人以上の子ども、父母達で会場が埋まりました。ちなみに昨年第六回目は七千人を越えたとの報告がありました。

当町会は協賛の支援団体としてこの会の発展を側面から援助し、会場設営、資金協力、会場警備等々、上用賀小学校ともども協力して、



やぐら会主催の納涼盆踊り

子ども達の楽しみを応援しています。

さらに納涼映画会と称して、子ども達に人気のあるアニメ映画を中心に、地域PTA、青少年地区委員会ともども町会として「子ども達が地域社会の中でいろいろな人たちと交流し、様々な生活体験を豊富に積み重ねられるよう」企画しています。

このほか都立用賀技能開発学院と町会との「相互災害応援協定」「地域の歴史、文化財の石標設置」「地域生活道路の名称の条通り表示」等々多彩な行事を展開しています。

「融和と協調」

いきいき私たちの町

駒沢三丁目町会会長

宮沢 武男

初めに、町会の環境を紹介
しますと、町会面積〇・
一四四㎦の中心におよそ
〇・〇一一㎦の駒沢緑泉公
園があります。その近隣に
は広さ〇・〇〇三㎦のよく
知られた駒沢プレイパーク
(通称はらっぱ)と呼ぶ広
場があり、子ども達の良き
遊び場となっております。



夏休みのラジオ体操 緑泉公園にて

公園内には広場に噴水が湧
きいで、木立生い茂る遊歩
道沿いには小川が流れると
いう四季折々の風情を樂し
ませてくれます。また、公
園に隣接して駒沢地区会館
があり、町会文化の発祥の
場として利用させて頂いて
おります。
さて、町会の生い立ちで
すが、私も町会は、
昭和四十二年の住居表
示に関する法律に基づ
いて、区割りされた地
域の端数三地区がまと
まり、創立された町会
であります。早いもの
で、昨年十一月一日に
満三十周年記念祝賀会
を開催することができ
ました。創立当初は、
寄り合い地区だけに、
心が一つになるまでに
は多少の時間と問題も
ありましたが、行政と

の係わりや町会の諸行事な
どで、年月の経過とともに、
おのずと融和が保たれてま
いりました。世帯数は一、
四〇〇世帯強であり、まと
まり良く活動いたしており
ます。

活動の一端を紹介させて
頂きますと、

▼世田谷区の資源分別回収
(リサイクル)の発足に
ついて
平成八年三月七日(木)
世田谷区の資源分別回収策
の、第一回説明会。

平成八年四月二十二日
(月)リサイクルステー
ション協力員への、第二回
説明会。

平成八年五月十六日(木)
町会の資源分別回収(リサ
イクル)が発足いたしま
した。

▼納涼盆踊り大会について
毎年八月三日、四日の二
日間実施。目的は会員の融
和と協調を図るとともに、
夏休み中の青少年の健全育
成。また、子ども達が成人
となり、国内・世界に雄飛
した時、故郷の良きを思い
出となるために。

▼夏休みのラジオ体操会
について
毎年八月二十五日、三十
日までの一週間
気軽に自由に、さあ、町
民の交流と健康増進のため
に、奮って参加しましょう。
おとなも、子どもも、
一、二、三をモットーに!!

▼防災訓練について
会員の方々に防災の認識
を深めて頂くために、積極
的に対応しております。特
に阪神・淡路大震災を教訓
に、関係機関からのご指導
を頂き、起震車、煙中訓練
を初め、一般的訓練、炊き
出し、可搬式D型ポンプ操
作訓練等実施しております。

▼防犯・防火について
夏期には防犯パトロール、
また、歳末には特別警戒本
部を設置。役員が2組に分
かれ、昔ながらの拍子木を、
カチツ、カチツと打ちなが
ら夜警巡回。ご苦勞様の温
かいねぎらいの言葉を頂戴
しております。

▼応急手当(普通救命)講
習の実施について
☆助かるはずの命を救った
めに。

▼夏休みのラジオ体操会に
ついて
毎年八月二十五日、三十
日までの一週間
気軽に自由に、さあ、町
民の交流と健康増進のため
に、奮って参加しましょう。
おとなも、子どもも、
一、二、三をモットーに!!

▼防災訓練について
会員の方々に防災の認識
を深めて頂くために、積極
的に対応しております。特
に阪神・淡路大震災を教訓
に、関係機関からのご指導
を頂き、起震車、煙中訓練
を初め、一般的訓練、炊き
出し、可搬式D型ポンプ操
作訓練等実施しております。

▼防犯・防火について
夏期には防犯パトロール、
また、歳末には特別警戒本
部を設置。役員が2組に分
かれ、昔ながらの拍子木を、
カチツ、カチツと打ちなが
ら夜警巡回。ご苦勞様の温
かいねぎらいの言葉を頂戴
しております。

▼応急手当(普通救命)講
習の実施について
☆助かるはずの命を救った
めに。

町会長交替のお知らせ ②

玉川地域町会連合会

町会・自治会名	新会長	旧会長
尾山台クラブ	萬代 佳枝	平野喜久江
上野毛町会	片瀬 松夫	土屋 敏之
玉川町会	鈴木 和夫	松本 三郎

☆家族や同僚などが万が一
のとき、救命の手助けが
できるために。

平成七年三月七日(火)
30名の者が普通救命3時間
講習を受講し、東京消防庁
消防総監より、救命技能認
定証(3ヶ年有効)の交付
をうけました。

平成十年三月二十八日
(土) 救命技能認定証の
更新講習を実施いたしま
した。

なお、役員会開催時、玉
川消防署のご指導により、
随時、応急救護訓練等を実

砧地域

タンザニア物産展

千歳台南会会長 伊藤 満洲雄

施しております。
▼緑泉友の会(ひとりぐらし高齢者会食会)
町会支援のもとに、町会女性ボランティア・協力員により月一回実施。65歳以上ひとりぐらし高齢者に対し、日頃地域社会との交流の少ない希望者に、家庭的な料理を提供し、交流を図る事を目的としております。
▼その他 研修会等々

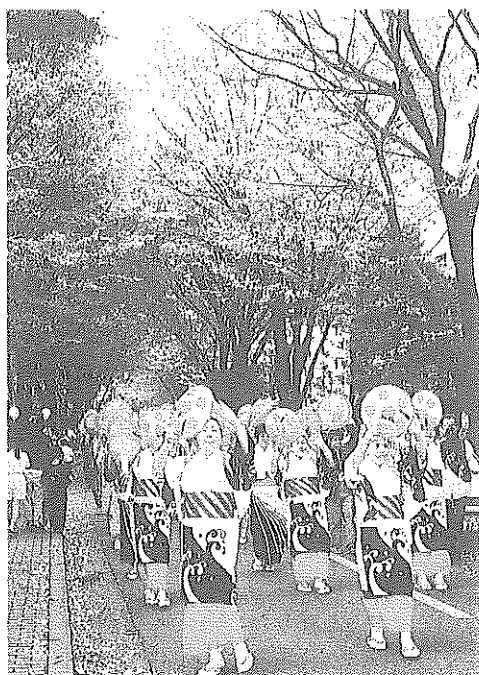
以上、活動の一端を記述させて頂きました。
これからも明るい町づくりに努力してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

平成九年十一月十六日(日曜日)、祖師谷出張所管内の十二町会自治会と各種団体は第一回「祖師谷ふるさとフェスティバル」を開催した。開催にあたっては、商店街・日赤奉仕団・社会福祉協議会・民生委員協議会・青少年地区委員会、消防団、そのほかお囃し会・ミニコミ編集委員会等々、日頃地域のコミュニティ活動を活発にやっておられる方々の全面的協力を

得ること、又行政や警察のバックアップが必須と考えられた。
区を挙げてのふるさと区民まつりとはもちろんのこと、喜多見や烏山のような伝統と実績のあるお祭りや違って、全くのゼロからの出発であったので、当初は果たしてうまくやれるかどうか相当不安であった。
結果からいえば、不安や予想をはるかに上回る大成功であったと思う。関係者

の熱意は疑うまでもなかったが、当日の天候だけは人智の及ぶ所ではないので最後までハラハラさせられた。前々日が雨、翌月曜日は低気圧の来襲だったことから見ても、本当に幸運であった。

動物園、お囃しなどの企画も次々と具体化していったが、平成八年に新装なった出張所を利用する催しについてはどこからもオッファ



花笠おどりパレード

町会長交替のお知らせ ③

町会・自治会名	新会長	旧会長
都営船橋4丁目住宅自治会	小山 巖	福田 秀雄
千歳船橋郵政自治会	宮下 武雄	鶴原 浩司
喜多見中部町会	早川 隆通	原田 義保
宇奈根町会	荒井 英治	青山 春治
大蔵東部町会	矢藤 貞雄	安藤 久夫
清水建設砧アパート自治会	宮本 昌明	市丸 俊一

砧地域町会・自治会連合会

って我が町会からタンザニア物産展を申し出た。タンザニアは世田谷区に大使館を持つ四カ国の中の一つ(上野四丁目)で、東アフリカの中央に位置する大国であるが、距離が遠いせいもあって、日本ではあまり馴染みがない。私はたまたま、昔勤めていた会社の先輩が、タンザニア開発公社の経営指導に行かれた縁で、この国の情報を得る機会があり多少の知識は持っていた。特に当国のマコンデ族の彫刻(黒檀製)と絵画(ティンガ・ティンガ)は素晴らしいもので、近代ヨーロッパの芸術家たち(例えばピカソやマチス、野獸派の画家達そして彫刻のジャコメッティなど)に大きな影響を与えたといわれている。

先輩の紹介によって大使館のキブワナ参事官に色々とアレンジして貰い、展示品目を物色している最中に耳よりな話しを聞いた。八月中旬、大使夫人は所用があつて一時帰国するので、その際に自分で見ていいものを選んで来ようといっておられる由。早速出かけて行って、欲しいもののリストをお渡しし、予定売値の六割程度で買って来て下さいとお願ひした。



祖師谷出張所におけるタンザニア物産展

結局、大使館所蔵品、見本市出品のためにすでに日本へ来ていた品々、そして私の注文した品々の三本立てで出展した。タンザニアの国旗、地図、説明文、ビデオ(国立公園の景色や動物が素晴らしい)なども取り揃え、当日は我が千歳台南会の住民十人程の方々の応援を得て待機した。あまり大勢の人が一挙に来られても心配、かと言ってずーっとガラガラでも心配だったが、幸運にも理想的なお客さんの入り方であった。午後二時頃大使夫妻も様子を見に来られた。来場者の関心の深さや会場の設営の状況にも満足された風でこちらも心底ホッとした。私は実行副委員長も仰せつかつていたが、他の会場を見て回る余裕が殆どなく、祭り全体がうまく行つたかどうかその時はよく分からなかつた。それが非常に気にかかつていたのだが、あとで聞くとそれぞれの場でとてもうまく行つたと聞いてうれしかった。フェスティバルの来場者総数は約一九、六〇〇人(午前十時から午後三時までの間に三回、数箇所でカウントして推計した結果)であつた。

今年の祭りには五万人位集めようなどと威勢のいい声もあり、我が町会はネパール(これまた大使館が世田谷区在)で行こうかなどと勝手に考えているところである。

余談だが、タンザニア大使夫妻のお孫さんは世田谷生まれとのこと。参事官のお嬢さん二人も同じく。皆さん世田谷が大好きだと言っている。

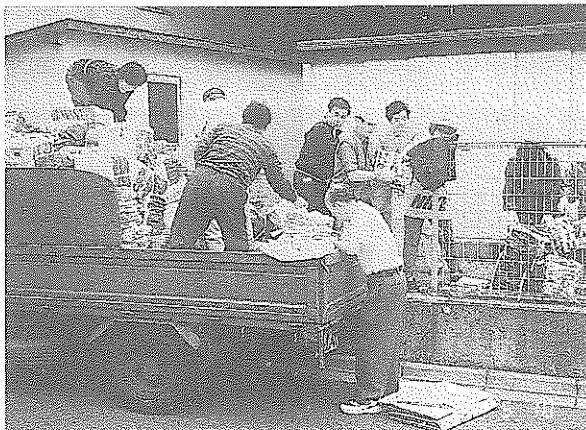
リサイクル活動を はじめて四十年

成城団地自治会副会長 奥山 武

はじめに

成城団地のリサイクル(当時は廃品回収と呼んでいた)活動の歴史は、四十年前に遡ることになります。当時は「リサイクル」という言葉はなく、廃品回収で親しまれた時代でした。これを担当したのが自治会の婦人部であり、売上げ金は自治会の一般会計とは別会計扱いとして、青少年育成のための資金や一般会計から捻出できない品物を購入するときの資金として積み立ててきました。例えば団地内の数か所にマイクを

屋上に設置して、集会所の時計にあわせて時報を知らせる傍ら、夕方には「夕焼けこやけ」のメロディーを流して、子ども達が家路に帰るように知らせたり、緊急の際や行事の知らせ等に



第一日曜日の団地内巡回回収

も活用している訳です。現在は、器具が古くなっ

てきましたので、災害用にも利用できるように取り替えることも検討中であり、その資金もリサイクル資金を利用することになっています。

いまの活動は

毎月第一日曜日は団地内の清掃日になっており、この日を利用して婦人部を中心に、男性の協力者といっしょになって、業者のトラックで団地内を巡回して新聞、雑誌、ビン等の回収を行っています。

かつ日頃は団地内に設置されている集積所の品物といっしょにして、業者に引き渡しをしています。

また、近ごろは成城六、七丁目の方や上祖師谷の方も引越など、ダンボール等の処分に関り、区のリサイクル推進課の紹介により、ダンボールを持って来られる方もあります。これも大切な資源でリサイクル活動の一環として、引き取っている現状です。また、数年前に区のリサ

イクル推進課との話し合いで、毎週月曜日を「リサイクルの日」と定め、団地内に九か所のリサイクル用のカゴを設け、住民の協力を得て成果をあげている訳です。

このたび自治会では日頃リサイクル活動に協力を願っている方に、世田谷ロール(トイレットペーパー六個入り一袋)を全家庭に無料で配布して、今後の利用についてPRを行っており、また販売店と業務提携をして毎月の清掃日に販売してどうか、現在検討中です。

区への提言

五月十五日号広報「せたがや」にリサイクル製品の告知が掲載されています。それによると区内に一七〇か所の販売店があるとのことですが、住民は自分の近くのどこで販売しているかを知っている方は数少ないと思います。

そこで「せたがや」の広報紙に、販売店名、住所、電話番号等を掲載して、利用の促進をはかるべきと思

います。折角リサイクル推進を進めても、利用がなければ無駄な行政として批判的になりかねません。(編集者より) 広報「せた

―地域の課題解決に向けて―

野川の改修と水害対策

鎌田南睦会会長 工藤 治夫

―地域の課題解決に向けて―

がや」の本年一月十五日「リサイクル特集号」に詳しく紹介されています。また、ハンドブックも発行されています。

地域の課題

こうした問題は個人の声としてはなかなか行政には届きません。また、具体的な現実の事態は行政にとっても把握し難い面もあります。したがってこの地域の課題を解決するために、当町会として東京都及び世田谷区に対して抜本的な改善を要望してきました。

地域の課題

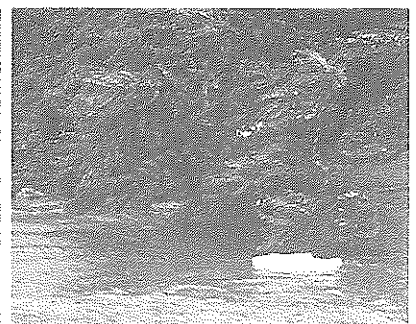
これに対して都は野川改修計画を立て、昭和五十四年六月に野川整備説明会を



D型ポンプによる排水作業



老朽破損した護岸



満水時の鎌田1丁目20番地先

開催しました。
進展しなかつた改修計画

説明会があつてから十八年を経過した現在、野川が多摩川への合流地点の用地問題が未解決とのことで、洪水時の野川の水位を下げることは実現に至っておりません。この間、区では都の改修計画が出されたため、自動式ポンプの設置など抜本的な対策は見合わせ、可搬式ポンプを常設したり、内水の排水孔に逆流防止弁を取り付けるなどの対応をいたしました。

しかし、降水量によつてはポンプの能力不足のため消防団の応援を求め、水中ポンプなども加え、四台のポンプを追加することもありました。

町会役員も夜間待機して野川の水位を監視するなど真剣に努力してきましたが、こうした努力もいつまでも続けられるとは思いません。都議会、区議会への請願を定める

野川改修計画により立ち退きに該当することになった住民は、絶大な理解を示

し立ち退きを完了したにもかかわらず、多摩川合流部分の用地問題に見通しが立っていないと言ふ現状に、これまでの経緯を併せ考え、請願に踏み切ることにしました。

近隣町会自治会並びに関係各位の協力と支援

請願についての署名では喜多見地区九町会自治会、砧地区八町会自治会の協力・支援を頂き、改めて近隣町会自治会との連携とご好意に感謝しています。

また、請願書提出にあつたのは、都議会議員五人、区議会議員九人と多くの皆様のお世話になりました。請願の結果については、都議会では三委員会で見解付採択となり、区議会では趣旨採択となりました。

さらに、区当局には水位を感知し自動的に排水するポンプ二台を新設していただき期待と共に感謝しております。

今後、野川改修工事が円滑に進むことを町会としては切に願っています。

和の精神をモットーに 五十年

大蔵東部町会会長 矢藤 貞雄

大蔵東部町会が発足してから今年で丁度五十年になりました。

当町会は、終戦三年後の昭和二十三年四月、会員数

五十八世帯、月額会費二十円で大蔵東部陸会として発足しました。

名称は大蔵の東端に位置していることに起因しており、五十八世帯のうちその半数近くは専業農家でした。

発足当時の部は、庶務、防火、防犯、衛生、土木、青年部のほか電力自制部、配給連絡部といううな構成でした。

当時はまだ戦争の後遺症があり、電力供給も充分でなく停電もたびたびありました。また主食である米を初め、その他の日常生活物資もまだ配給制度のルールに乗っており、物資が公平に円滑に行き渡ろう、町会が夕

ツチしていたウエイトがまだまだ大きかったことが窺えます。

発足二年後の昭和二十五年に会員の寄付により、木造平家セメント瓦葺十七坪の町会事務所を二十一万円（坪当たり一万二千元）で建築しました。当時私も青年部に属し、砧緑地（現砧公園）から農地の一部を借用して水稲、麦などを耕作して収穫物を販売して、町会事務所の建築資金の一部に寄付したことを今でもはつきりと記憶しています。

その後昭和三十年代にはいるや青年部、電力自制部、配給連絡部などは姿を消し、時代の流れとともに婦人、総務、交通、防災、環境部などが登場し、会員数も四〇〇世帯に達し現在に至っています。

管内には、昔からこの地区のお守り神として多くの人達から崇敬されてきた「おいなりさま」がありました。老朽化がはげしくなり、平成二年に現在の新しい横根稲荷神社が完成しました。



横根稲荷神社 秋の大祭

毎年秋の大祭行事は、氏子会と当町会の共催で盛大に行われています。

また夏の当町会主催の盆踊り大会もこの境内を借用して行われています。

当町会の盆踊り大会は、子供たちの夏休みの楽しい思い出として印象づけるため、特に「親子納涼盆踊り大会」と名づけています。

少子時代の現在、子供たちは昼間は塾通い、家庭内ではファミコンに熱中しているせいなのか、普段町内には殆ど子供たちの姿は見

られないのですが、稲荷神社の大祭当日、管内を巡行する太鼓の綱には多くのチビッコたちが群がり、また夏の盆踊り大会には多くの子供たちが集まってきてく

れ、たとえ一時的にせよ多くの子供たちが外で見られることは、われわれ年寄りたちを大いに喜ばせてくれます。

当町会では平成六年に区のリサイクル事業の一環として管内六ヶ所にリサイクル・ステーションを設置し、資源のリサイクルに協力し

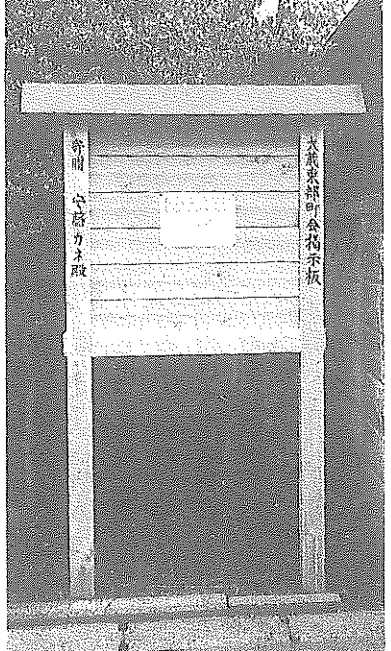
ています。また毎年春のゴミゼロデー運動には、環境部指導のもと五十余名の人達で管内を五

六班に分け清掃を行っています。

防災活動についても不定期ではありますが、消防署の指導のもとに防災訓練を

実施し、また毎年秋に行わ

れる地区防災訓練にも二十



会員寄贈の掲示版

食が進み何とかしなればと気にかけていたところ、会員安藤カネ様のご好意により、今回六ヶ所について掲示版建て換への寄贈があり会員から感謝されています。

当町会発足五十周年に当たり、多くの先輩達が残してくれた「和」の精神を大事にして初心にかえり、気分を新たに頑張りたいたいと思っています。

五名程度が参加し、不時の災害に備えています。

管内には九ヶ所に町会の掲示版が設置されていますが、長い年月の間に大分腐

烏山地域

心をこめて誠実に

八幡山町会会長 長島 清一

「おーい、誰かまだ中にのこっているぞ？」の一声に、二、三人が走り出し、お年寄りをかかえての見事

な救出におもわず拍手があがりました。これは先日、高齢者センター新樹苑での防災訓練のことです。



新樹苑の防災訓練

訓練とはいえ、決して手を抜かず、一生懸命に走り行動に移します。

私達の町、八幡山町会は何事においても、心をこめて誠実に！という言葉がびつたり町の町であると感じております。

たとえば、青年会が毎月第二日曜日にやっております古紙回収も、始めてから二十四年ほどになります。やはり、うわべだけのボラ

ンティア精神ではこのように長続きはしなかつた筈です。そして、婦人部のアル

ミ缶回収作業も十五年以上続き、町会の資金作りのために働いていただきました。現在、缶、ビンのリサイクルステーションが出来まして、町民の方のご協力をえて続けております。

また、二年ほど前に開所しました「かまのくち緑地公園」には、町会の老人ク



新樹苑の避難訓練

ラブのお年寄りの方達が草取り、清掃等、花壇には季節の花を咲かせて下さいます。最近では、珍しい鳥や、きれいな蝶々等が見かけられ町民の憩いの場所になっております。

ボランテアといえは、私達の町八幡山には、明大と日大の運動場、合宿所があります。高齢者センターの行事や町会の催し事には学生さんに多数参加してもらい、ボランテア精神を身を以て勉強していただいでおり、我々も若い人達と

の交流、育成に力をいれております。

初めはとまどっていた学生さん達もこちらの熱意に動かされてか、率先して行動してくれるようになりました。

線引き

粕谷会総務

本橋 生市郎

粕谷は世田谷区の西北、環状八号線沿いにあります。

昔は千歳村字粕谷、「みみずのたわごと」の文豪徳富蘆花の愛した粕谷です。

「世田谷区」が今までの経緯や歴史を考えない線引きで区域を別けてしまい、今、私共は大変に困っております。

★ひとつの町でひとつの小学校を！

先ずは小学校の通学区域です。粕谷は芦花小学校・塚戸小学校・千歳台小学校と三校に分かれてしまっています。小学校の六年間は子供も親もお互い知り合う

これからも何事にも熱意をもって向かい、新しい事に挑戦し、町全体が明るく、高齢者の方達も安心して生活ができるように努力していきたいと考えております。

大変にいい機会です。粕谷では学校がひとつだったから、卒業後も子供も親もまとまり良く、町会活動や、神社のお祭りやと気軽に参加してもらえような気がしますが、今はばらばらで、道ひとつ隔てれば隣の人の顔もわかりません。

文部省でも「地域との連携によって子供の非行防止を」などと言っています。

このように、ばらばらでは連携のしようもありません。国の方針が「区」まで来ていないらしく、私が何度か「ひとつの町でひとつの小学校を」「そうすればまと

まるから」と区の職員に話をしたのですが「そんなことは出来ない」で終わります。

今、子供の数の減少によつての学校の統廃合が言われています。今が丁度良い「ひとつの町でひとつの小学校を」のチャンスではないかと思えます。



活動拠点となっている粕谷会館

の管内でした。今、地区の防災訓練は上祖師谷出張所単位で行われていますので、第三分団は分断されて、粕谷は上祖師谷の成城消防団第七分団と一緒です。八幡山などは上北沢で世田谷消防署の消防団と一緒に訓練です。

消防団としての普段の活動、たとえばポンプ操作、水防訓練、総会や親睦会等は成城消防団第三分団として行っていますし、災害発生時の連絡・指揮は第三分団の分団長の下で行われます。

しかし、災害を想定した「区」が絡んだ訓練では第三分団は、ばらばらにされてしまっています。

実際に大震災等が発生したら、「区」の訓練のやり方で救助消火、防災等消防団

活動がうまく機能するのでしょうか。避難所も粕谷は芦花小学校と千歳中学校の二校に別れさせられてしま

★防災訓練

成城消防団第三分団（粕谷・廻沢・八幡山・船橋）は以前は船橋の第二出張所

います。「区」の指導で出て来た「区民防災組織」はひとつです。本部長以下粕谷の本部員はどちらの避難所に行くのでしょうか。このように「世田谷区」が行うことは、行き当たりばったりで、深く考えないで「決

めてしまえばどうにかなるだろう」くらいに思っているとした私には思えません。これからの「区」に望みたいことは、将棋にたとえれば、一手だけではなく三手か五手くらい先を読んでもらいたいと思います。

変貌するわが町

鳥山下町会会長 志村 利雄

わが町は世田谷区とはいえず杉並区と境を接し、南は粕谷、北は中央自動車道近くまで、だだっ広い範囲に及び、元来が南北に主要道路がなかったために開発には大分時間を浪費したが、環状八号線も高架となり道路事情も俄に活況を呈する一方、交通量、人口、世帯等すべてが増え続けている。このことは町の活性化には非常に貢献している面もあるが、一方では色々と「将来に難問や課題を残す可能性も大いに有り」という状態である。

特に京王線の場合、特急快速、各駅停車等ダイヤも過密となり、開かずの踏切問題がクローズアップされるのは当然のことであるが、某地域では高架になり、駅周辺の活性化に成功し、発展した例があったとも言われている。
過去に運輸省のお偉いさんが「将来は路面電車が地下高架にせざるを得ない」と言っただけでしたが、言うは易く何事も責任を持つて実行することは大変なことであり、勇気と決断なしでは出来ることではな

い、ということ銘記して実行してほしかった。

過去の例を辿って見ても完全なる公共事業でありながら、周辺住民の反対により計画の変更をしたのでは、政治的な力関係を疑われても仕方ないこと。

忘れ去られた過去のことだが、今後の課題として後輩達にも大いに頑張ってもらいたく、町内会の隆盛を祈るのみです。

つゆ空に淡く尾を引き
飛行雲
紫陽花のおさまらぬまま
挿しにけり



高架化に取り残された芦花公園駅付近

町会長交替のお知らせ ④

町会・自治会	新会長	旧会長
上北沢町会	小石 登	大森 一三
祖師谷橋自治会	北沢 要	原島 正治
都営第一八幡山団地自治会	櫻井茂利男	本間 充
都営烏山アパート自治会	石垣 俊男	安藤 鏡子
芦花公園前住宅自治会	和田 豊昭	安在 道夫
烏山第1団地自治会	宮口 清	福本 新吾
烏山北住宅自治連合会	重枝 春夫	下田たづ子
給田南住宅自治会	江間 貞雄	田口イシ子

烏山地域町会自治会連合会

船橋地区自治会連合会への加入

四月一日付
三菱化学千歳船橋社宅自治会
会長 田丸 明生 68世帯

お悔やみ申し上げます

太子堂四丁目西山町会会長
宇田川 義信 殿
平成十年二月五日
世田谷上町町会会長
内藤 義雄 殿
平成十年五月十九日

町総連ニュース

▼一月二十一日

常任理事会

- 一、新年親睦交流会の役割分担等の件
- 二、移動常任理事会の役割分担等の件
- 三、規約の一部改正提案の件

四、町総連情報誌の件

五、東京都町会連合会新年会の件

▼一月二十三日

新年親睦交流会

三軒茶屋銀座アスター
来賓 大場区長他

▼一月三十日

東京都町会連合会新年懇親会

文京区茗溪会館 出席者
白石会長、倉本副会長、事務局

▼二月四日

移動常任理事会

杉並区町会連合会役員との懇談会
(詳細は別稿Ⅱ二頁)

▼二月十七日

正副会長会

- 一、防災協議会の件
- 二、エイトラライナーの署名活動の件
- 三、町総連の事務所(室)の件
- 四、平成十年年度予算の件
- 五、規約の一部改正の件
- 六、災害時、民間団体との協力協定の件

▼三月十二日

交通安全協議会幹事会

一、平成十年春の世田谷区交通安全運動実施要領(案)の件
- 二、平成十年度世田谷区「交通安全日、二輪車・自転車安全日、駐車対策強化日」実施要領(案)の件

▼四月八日

会計監査

一、平成九年度予算 決算監査
出席者 白石会長、安田、

渡辺、倉本各副会長、中根、青山各会計、甲斐、

木村各監事

▼四月八日

正副会長会

- 一、エイトラライナーの件の件
- 二、平成十年年度予算(案)の件
- 三、平成十年度活動費の配分及び会費の徴収の件
- 四、理事会の進行及び次第の件
- 五、永年勤続者表彰の推せんの件
- 六、事務局長の件

▼四月十四日

町総連だより編集会議

情報誌第八号のテーマの件

▼四月二十三日

常任理事会

- 一、平成九年度事業報告並びに決算の件
- 二、平成十年度事業方針並びに予算(案)の件
- 三、町総連情報誌の件の件
- 四、総会の件
- 五、永年勤続者表彰の件
- 六、理事会の役割分担の件
- 七、平成十年度活動費の配分及び会費徴収の件
- 八、リサイクルの件

▼五月二十日

運輸大臣に面会

エイトラライナーの早期実現をめざして要請書と署名簿を手渡す。

九、まちづくり中央会議の件

十、「地域リーダー研修」実施委託の廃止の件

▼四月二十三日

理事会

- 一、平成九年度事業報告の件の件
- 二、平成九年度決算報告の件の件
- 三、平成九年度会計監査報告の件
- 四、平成十年度事業方針(案)の件
- 五、平成十年度予算(案)の件の件
- 六、町総連情報誌の件
- 七、総会の件
- 八、永年勤続者表彰の件

▼五月十四日

東京都町会連合会三役会

一、平成十年度定期総会の開催の件
- 二、定期総会の議題の件
- 三、平成十年度会費の納入の件

▼五月二十九日

玉川地域町会連合会総会及び懇親会

出席者 白石会長
砧地域町会・自治会連合会総会及び懇親会

▼六月一日

土田区議会議長並びに小口副議長を訪問

出席者 白石会長、渡辺、高橋、倉本各副会長、宇

出席者 白石会長

▼五月二十二日

東京都町会連合会常任理事会

- 一、平成九年度事業報告、収支決算報告、監査報告の件の件
- 二、平成十年度事業計画(案)、予算(案)の件の件
- 三、役員選任の件
- 四、年会費の納入の件の件

▼五月二十五日

烏山地域町会自治会連合会総会及び懇親会

出席者 白石会長

▼五月二十八日

世田谷地域町会連合会総会

田川常任理事

▼六月三日

北沢地域町会連合会総会
及び懇親会

出席者 倉本副会長

▼六月四日

町総連だより編集会議
情報誌第八号の校正

▼六月五日

東京都町会連合会

定期総会及び懇親会

一、平成九年度事業報告、

収支決算報告及び監査報

告

二、平成十年度事業計画

(案) 及び予算(案)

出席者 白石会長、事務

局

▼六月十一日

町総連だより編集会議
情報誌第八号の校正

▼六月十二日

常任理事会

一、世田谷区防災映像情報

システムの件

二、総会等の役割分担及び

スケジュールの件

三、阪神淡路大震災の視察

等の件

四、町総連情報誌の件

五、永年勤続者表彰の件

六、役員の変更の件

エイトライナー署名活動結果報告 連合会長 運輸大臣に面会

エイトライナーの早期実現を要望する署名活動に、ご協力を賜り誠にありがとうございました。この署名活動の結果、短期間にもかかわらず130,359名の署名が集まりました。町会総連合会白石会長は、このうち104,613名分を集めた町会を代表し、早期実現を求める区民の熱意を国に伝えるため、大場エイトライナー促進世田谷区民の会会長・大場区長・土田区議会議長とともに5月20日、運輸省を訪れ、大臣や運輸政策局長に直接面会のうえ、署名簿とともに要請書を提出して参りました。運輸省としても、「エイトライナー構想は、当然知っているし、その必要性も十分認識している」との心強い回答を得ております。

これに先立ち4月23日に、東京都知事宛にも署名簿と要請書を提出しております。



エイトライナーの早期実現のためには、何よりも地元の熱意と盛り上がりが必要不可欠です。今後とも、皆様のご協力とご支援をお願い致します。写真は運輸大臣室にて 右から白石会長、土田議長、大場区長、越智代議士、運輸大臣、運輸政策局長、大場区民の会会長

編集後記

町総連たよりの発行に携わって今回で八号、丸四年になる。この間に発行所は世田谷一丁目、深沢二丁目、深沢一丁目、代田五丁目、若林四丁目と五回変更になっている

が、今後はこの場所に落ち着くことが出来そうである。

それは町総連として初めて区役所の真向かいに事務所を持つことが出来たからである。この間の行政側のご理解と協力が厚く感謝申し上げる次第である。

この四年間、編集委員会と

しては全単位町会の参画意識を高めるため、会議の前の自己紹介のようなつもりで、各町会に自由に書いてもらおうという方針を続けてきた。

しかし、連合町会が二七もあり、一連合町会の中に単位町会が最大一七もあると確かに「自己紹介」だけでは飽きられるという面も無きにしもあらずなので次号から多少主題を絞る方向に変えたいと思っているのでご意見を賜りたい。

本号も前回同様、最初の編集会議の段階から、幹事出張所のご協力を仰いだ。

今回は松原出張所の田中所長に大変お世話になった。

第四号で、当時の都議会議長長熊氏が、町会長の立場の重要性をもっと社会に広く認識させるべきだと説いておられるが、その結果の一つが一面所載の知事の表彰書簡という形で実を結んだわけだ。年間何人か、限られた中の第一回というところに世田谷区の位置、当連合会の実力が読み取れるのではないかと、大変喜ばしいことである。

エイトライナー建設促進に関する署名運動の結果は別稿のとおり、短期間の運動であったにも拘らず町会連合会の実力を発揮し、運輸省に持ち込む時は、その量の多さにキヤリアーが必要だったとのこ

と。区がこの交通機関を求めているのではなく、住民が求めているのだということに十分にアピール出来たのではないかと。

「世田谷区防災地域活動推進協議会」およびそれぞれの「地域活動推進協議会」は、今年度になって「世田谷区区民防災会議」および各地域「防災区民会議」になった。

これは隣組的な連帯意識を持つ単位町会の防災活動と、行政の各種機関との調整能力を持つ区民防災会議との機能を明確にして、それぞれの責任分野を果たして行こうとするもので、町会総連合会会長は区民防災会議の長を兼ねることによって両者の調整を図って行く方針で進行中である。

また、本年五月八日に、地方自治法の一部が改正されて我々の長い間の悲願であった「市なみの自治権」が二十三の特別区にも与えられるようになった。

六月三十日には「世田谷市実現をめざす区民の会」(湯川洋蔵会長)主宰で本件の報告会があったが、本法案実現までの町会総連合会の役割を考えると、これからが本腰で取り組まなければならない問題である。

この二件については次号で取り上げたい。(W)